

# Mizuho Daily Market Report

2023/9/7

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	147.39	147.66	▲0.06	+1.42
EUR	1.0730	1.0727	+0.0005	▲0.0196
AUD	0.6383	0.6382	+0.0003	▲0.0093
SGD	1.3627	1.3636	+0.0023	+0.0139
CNY	7.3105	7.3180	+0.0147	+0.0310
MYR	4.6743	4.6757	+0.0105	+0.0372
THB	35.53	35.51	+0.05	+0.42
IDR	15298	15293	+28	+53
PHP	56.96	56.94	+0.12	+0.20
INR	83.14	83.14	+0.10	+0.41

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.280%	+2.0 bp	+16.6 bp
日本(10年)	0.660%	+0.2 bp	+0.8 bp
ユーロ圏(10年)	2.653%	+4.1 bp	+10.8 bp
オーストラリア(5年)	3.856%	▲0.7 bp	+1.8 bp
シンガポール(5年)	3.152%	+2.9 bp	▲0.3 bp
中国(5年)	2.502%	+4.6 bp	+10.7 bp
マレーシア(5年)	3.608%	+0.8 bp	+2.2 bp
タイ(5年)	2.676%	+7.1 bp	+15.1 bp
インドネシア(5年)	6.232%	+5.5 bp	▲4.5 bp
フィリピン(5年)	6.121%	▲0.5 bp	+7.7 bp
インド(5年)	7.189%	+0.2 bp	+0.8 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	34,443.19	▲0.6%	▲1.3%
N225(日本)	33,241.02	+0.6%	+2.8%
STOXX50(ユーロ圏)	4,238.26	▲0.7%	▲1.8%
ASX(オーストラリア)	4,048.70	▲0.2%	▲0.6%
FTSTI(シンガポール)	3,222.88	▲0.1%	+0.1%
SSEC(中国)	3,158.08	+0.1%	+0.7%
KLSE(マレーシア)	1,460.62	+0.4%	+0.6%
SETI(タイ)	1,548.78	+0.1%	▲1.8%
JKSE(インドネシア)	6,995.953	+0.1%	+0.4%
PSE(フィリピン)	6,241.69	+0.3%	▲0.9%
SENSEX(インド)	65,880.52	+0.2%	+1.2%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	284.74	▲0.1%	+1.3%
金	1,916.56	▲0.5%	▲1.3%
原油(WTI)	87.54	+1.0%	+7.2%
銅	8,358.75	▲1.5%	▲1.0%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	147.30	—	149.30
EUR/USD	1.0680	—	1.0800
AUD/USD	0.6310	—	0.6410
USD/SGD	1.3570	—	1.3680
USD/CNY	7.2950	—	7.3400
USD/MYR	4.6550	—	4.6880
USD/THB	35.40	—	35.75
USD/IDR	15240	—	15340
USD/PHP	56.60	—	57.25
USD/INR	82.88	—	83.35

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel: 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間オープン前、神田財務官の「あらゆる選択肢排除せず対応」との円安を牽制する発言を受けドル円は小幅に値を下げ147円台半ばでアジア時間の取引を開始。公示仲値決定のタイミングにかけドル買い優勢となると、147円台後半まで上昇し年初来高値を更新。上昇一服後は147円台半ばまで値を戻し、午後にかけて米金利が低下したことを受け147円台前半まで下押しし海外時間に渡った。アジア新興国通貨は軟調に推移。前日に発表された中国PMIが市場予想を下回ったことを受けアジア通貨が総じて軟調に推移する流れが継続。シンガポールドルは年初来高値となる1.36台半ばを付けた。

海外時間のドル円は、欧州時間147円台前半の水準で推移し米州時間へ。米州時間朝方に発表された米8月ISM非製造業景況指数が予想より良好な内容となり、仕入価格と雇用の部分でも予想を上回った結果が買い材料となり、147円台後半まで反発する。米州時間午後も底堅い推移が続き、147円台半ばから後半にかけてのレンジで推移しクローズ。

## 【金利】

米債市場は、中期を中心に上昇し、イールドカーブは長期でフラット化。米州時間朝方に発表された8月ISM非製造業景況指数が予想、前回を上回る強い数字となったことから、底堅い米国経済が意識され、発表後より債券売りが優勢となり、金利は急上昇した。10年債の利回りは、日中に4.30%を上回って推移。

## 【予想】

本日のドル円は引き続き、底堅い推移を予想。昨日の神田財務官による円安牽制発言への反応も一時的となり、引続き高値圏で推移しており依然として円売り圧力は強いものと予想する。148円台を目前に上げ渋る展開は予想されるものの、引続き底堅く推移するものと予想。

## 【本日の予定】

(日本) 7月 景気動向指数(速)  
(日本) 国債入札(30Y)  
(アジア) 2Q NZ 製造業活動  
(アジア) 7月 豪 貿易収支  
(アジア) 8月 インドネシア 対外純資産 / 外貨準備高  
(アジア) 8月 シンガポール 外貨準備高  
(アジア) 8月 タイ 消費者景気信頼感  
(アジア) 8月 フィリピン 外貨準備高  
(アジア) 8月 中国 外貨準備高 / 8月 中国 貿易収支  
(アジア) 8月 豪 外貨準備高  
(アジア) マレーシア 金融政策会合  
(アジア) 豪 RBA総裁講演  
(欧州) 2Q ユーロ圏 GDP(確) / 雇用(確)  
(欧州) 2Q 仏 雇用者数合計 / 賃金(確)  
(欧州) 7月 仏 経常収支  
(欧州) 7月 独 鉱工業生産  
(米国) 2Q 非農業部門労働生産性(確) / 単位人件費(確)  
(米国) ウィリアムズ・NY連銀総裁講演  
(米国) ハーカー・フィテラフィア連銀総裁講演  
(米国) ホステック・アトランタ連銀総裁講演  
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。